

令和 6 年度
教育課程特例校における特別の教育課程
【実施状況報告】

池田市立 石橋南小学校

1. 概要

池田市では平成 1 6 年 3 月に構造改革特別区域計画の認定を受け、「教育のまち池田」特区に取り組んできました。市立小学校全学年に「英語活動」を教科として導入（全学年 年間 3 5 時間）し、平成 1 8 年度より全小学校で実施してきました。

平成 2 0 年 7 月より「構造改革特別区域研究開発学校」規制の特例措置が全国展開されたことにより、本市の特区認定は取り消され、文部科学省の「教育課程特例校」指定に移行し、これまでの特区内容の教育課程を継続実施しています。

平成 2 5 年度に「教育課程特例校」の実施期間の終了を迎えましたが、平成 2 6 年度以降も継続を申請し、1 ～ 4 年生における「英語活動」の授業を実施しました。

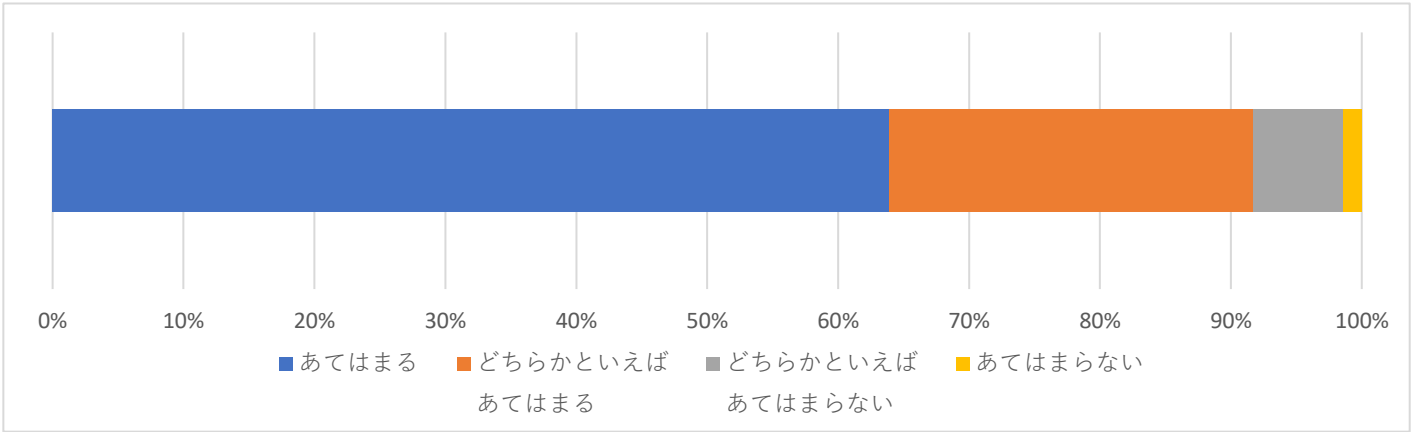
新学習指導要領への移行に伴い、「英語活動」は引き続き 1 ・ 2 年生で実施し、幼稚園、小 ・ 中 ・ 義務教育学校での継続的な英語学習をすすめています。

この 1 ・ 2 年生の「英語活動」は生活科の時間を活用して年間 1 5 時間実施しています。内容としては主に英語のリズムや音に慣れ親しむ活動を重点にし、挨拶や動作、身の回りのものを表す単語を題材にした活動を取り入れています。早期の段階から英語に触れることで、ことばや文化に対する関心を高め、正しく理解し、国際社会で生きる力を育成することをねらいとしています。中学年からの外国語活動、高学年からの外国語科への学びの連続性を意識して指導にあたっています。

2. 児童アンケートの結果

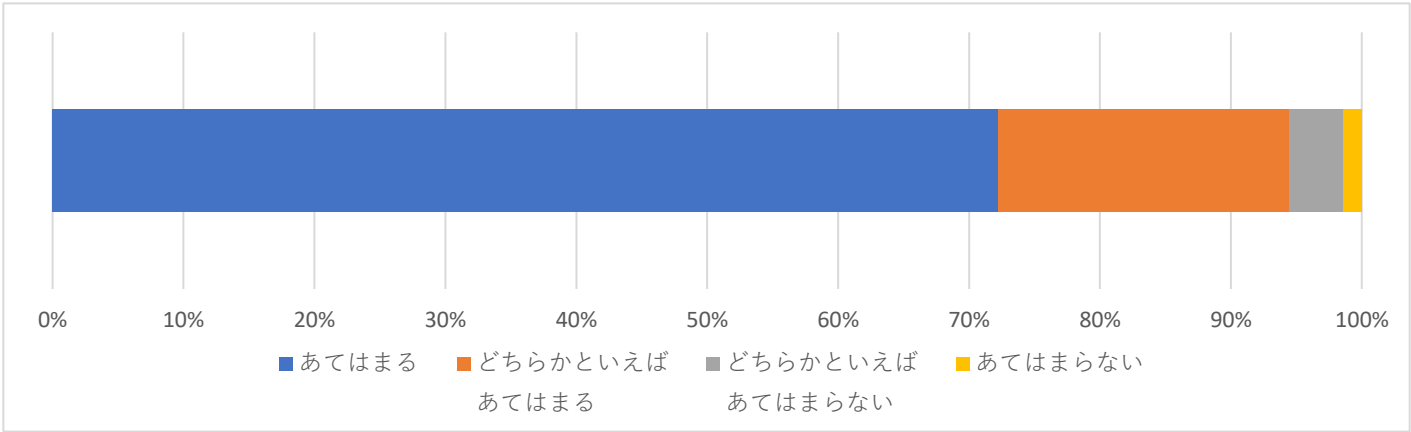
① 英語の勉強は好きだ。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	19	10	2	0
2年生	27	10	3	1
合計	46	20	5	1



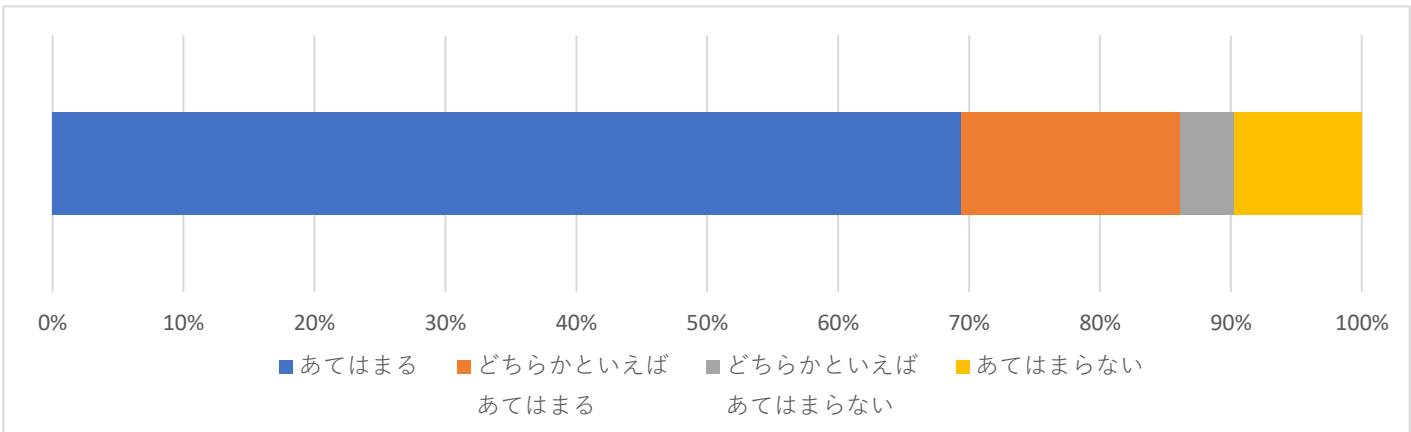
② 英語の授業はよくわかる。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	19	9	2	1
2年生	33	7	1	0
合計	52	16	3	1



③ 外国の人と英語を使って話せるようになりたい。

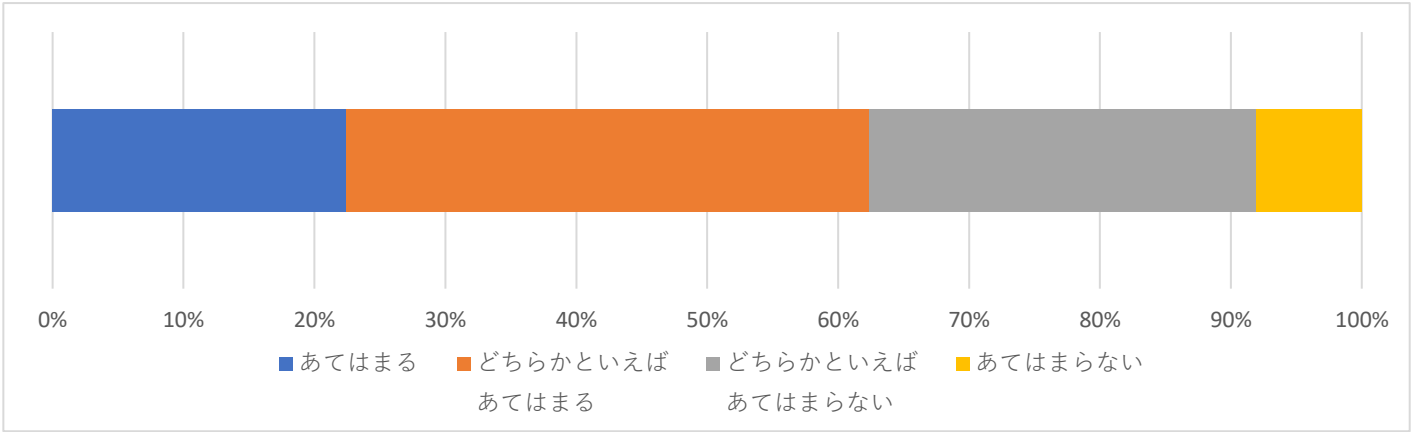
	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	23	4	1	3
2年生	27	8	2	4
合計	50	12	3	7



3. 保護者アンケートの結果

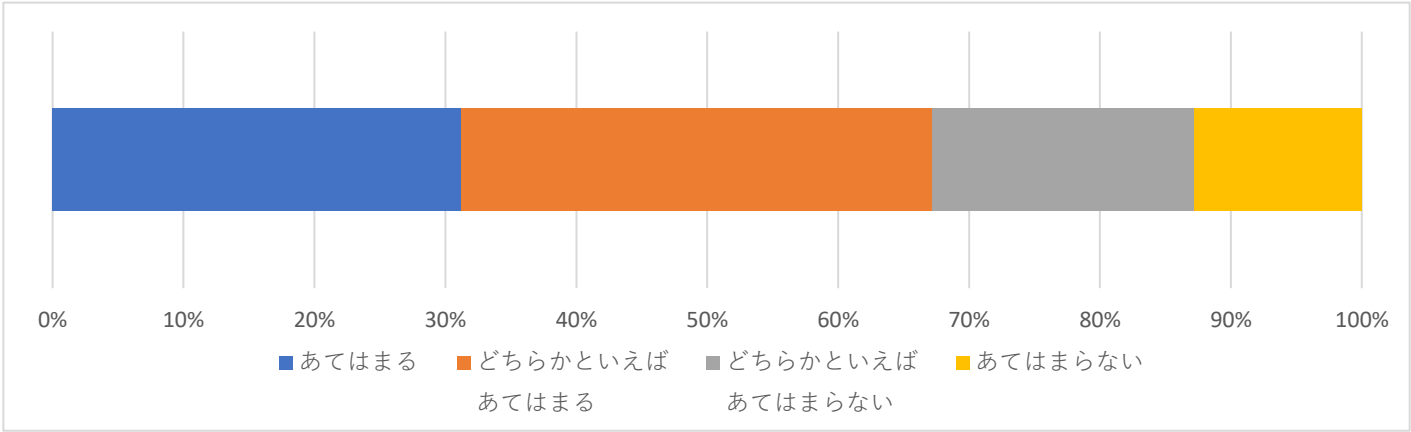
① 英語の授業を通して、お子様の英語学習に対する態度や英語を運用する知識・技能の向上を感じましたか。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
合計	28	50	37	10



② 英語の授業のことを家庭で話題にしますか

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
合計	39	45	25	16



4. 学校関係者からの意見

- ・1年生から活動を多く取り入れながら楽しく英語を学ぶことにより、学年が上がり、内容が難しくなっていく中でも、あまり苦手意識を持たずに学習を進めることができている。
- ・本校独自の取り組みとして、各学年、学期に1回程度、近隣大学の留学生との交流の機会を設けている。低学年の児童も授業で学んだ英語を使って、積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿が見られる。
- ・GTECで外部検定を受けることで、6年間の成果と課題を知り、授業改善につなげることができる。

5. 今後に向けて

アンケートの結果から本校の児童は英語の授業に対して好意的に捉えていることがうかがえる。普段の授業も活動を多く取り入れ、英語を使って積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿が見られる。

また、本校独自の取り組みとして、各学年、学期に1回程度、近隣の大学の留学生を招待し、一緒に遊んだり、それぞれの文化を紹介したりするなどの活動を行っている。授業で学んだ英語のフレーズを使い、留学生とコミュニケーション取り、交流を楽しんでいる。今後はこれらの取り組みをより授業と関連させていくことで、言語や異文化への関心の高まりや実践的な語学力の向上を図っていく。